

あ い さ つ



教育長 佐藤 秀美

令和7年度教育要覧「福島市の教育」の発刊にあたり、ごあいさつを申し上げます。

皆様には日頃から本市教育行政の推進に格別なるご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

本市では、「ふるさとへの誇り 夢とあこがれ 心(ひとみ)かがやく ふくしまっ子」の育成を目指し、学校教育の質の向上と学びの環境の充実を推進しております。

今年度の主な取組といたしまして、まず、学校教育の質の向上について、「子どもが主語」の授業改善を各学校に浸透させることを柱にしながら、新たに授業改善サポーターを配置して教員の指導力を向上するとともに、児童生徒がICT端末を日常的に使う授業を定着させ、個別最適化された学びと協働的な学びの実現を図っております。

また、新たに創設したスクール・サポート企業登録制度等により、学校と企業が連携し、多様な学びの機会を提供します。さらに、部活動の地域展開に関しては、コーディネーターを配置して地域の人材・団体との連携体制を構築し、教員の負担軽減を図りながら、部活動を充実してまいります。

多様な価値観のある世界の中で、自信を持ってたくましく生きる人材を育成するため、中学生・高校生等が海外で参加する研修費用の一部を助成するほか、戦後80年という節目の年に当たり、中学生を広島市の平和学習プログラムへ派遣します。

いじめ・不登校防止対策については、支援教員の配置等により、新たに不登校となる児童生徒が少なくなってきました。今年度は支援教員配置を8校から11校に拡充するとともに、公民こねくにより開発された不登校児オンライン教材を本格導入して、支援体制を強化しております。

学びの環境の充実については、本年4月に「松陵義務教育学校」を開校しました。松川地区の小中学校を再編して施設を充実するとともに、9年間を通した系統的・継続的な教育と「まつかわならではの教育」を推進してまいります。

また、2年目を迎えた県内唯一の公立夜間中学「天神スクール」には、今年度新たに10名が入学し、生徒数が29名となりました。外国にルーツを持つ生徒が増えており、多様な教育ニーズに対応して、学び直しを支えています。

学校校舎については、外壁塗装と屋上防水による校舎リフレッシュを加速するほか、12の中学校を皮切りに3年計画で照明のLED化を進めます。また熱中症対策として順次体育館にエアコンの設置を進めます。

新学校給食センターについては、令和8年4月供用開始に向けて工事と体制構築が順調に進んでおります。

本市教育委員会では、今後とも安全で安心して学ぶことができる魅力ある学校づくりを目指すとともに、市民一人一人が生涯にわたって生き生きと学べる学習機会の拡充と環境整備を推進してまいります。引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年8月

福島市教育委員会教育長 佐藤 秀美